

資料

コロナ禍でのスポーツ大会運営と感染予防対策 ～バドミントン競技の事例

渡辺 英次 (文学部教授)

1. はじめに

2019年12月に発生した新型コロナウイルス「COVID-19」は、2021年1月31日の時点において、いくつかの国でワクチン接種が始まり、本邦での接種はいつになるのかというニュースを耳にするようになったが、変異種の発生報告などもあり、以前収束の兆しを見せていない状況である。本邦においては、4月7日に東京・埼玉・千葉・神奈川・大阪・兵庫・福岡の7都府県を対象に緊急事態宣言を行い、4月16日には全国を対象とした。その後、5月14日に北海道・東京・埼玉・千葉・神奈川・大阪・京都・兵庫を除く39県で緊急事態宣言を解除、おって5月21日に大阪・京都・兵庫で解除、5月25日には北海道・東京・埼玉・千葉・神奈川で解除され、およそ1ヶ月半ぶりに全国で解除された¹⁾。その後、感染者数は少し落ち着く気配が見られたが、6月下旬から8月上旬にかけて再び上昇し、小康状態が続いたのちに10月末から感染者数が再び増加した。年末年始には過去最多の感染者数を日々更新する事態となり、2021年1月7日に東京・埼玉・千葉・神奈川を対象に2度目の緊急事態宣言を行い、おって1月13日に栃木・愛知・岐阜・大阪・兵庫・京都・福岡が入り、11都府県が対象となっている²⁾。2月7日までを期限としているが、医療体制の逼迫、変異ウイルスの市中感染を疑うケースが増えてきており、延長を含めて検討されている。

この間、スポーツ界においても様々なニュースが影を落とした。本邦においては2020年2月26日、日本政府より今後2週間のスポーツ・

文化イベントの中止延期要請から始まり、3月24日の東京オリンピック・パラリンピック競技大会一年延期決定を受けて、ほぼ全ての公式競技会、大会が中止となった³⁾。その後、1回目の緊急事態宣言明けからプロスポーツは開催に向けて動き出し、無観客での試合や人数を制限しての実証実験的な活動を行いながらスポーツ活動を続けてきた。一方で、運動部活動や大学で言う課外活動となる、いわゆる「学校体育」に関連する大会については中止を余儀なくされ、児童、生徒、学生らが目標を失いかけていた。そのような状況を憂い、これまでの成果を発表する機会を作れないかと有志が集まり、感染予防対策を行いながら各競技、各地で大会が開催されたことは記憶に新しい。バドミントン競技においても各年代において大会が行われた。その中から、著者が実際に現地を確認した新しい大会運営、3大会での感染予防対策についてまとめ、2020年度のバドミントン界の状況を資料として記録した。なお、感染予防については日本バドミントン協会のバドミントン活動ガイドラインに基づいた大会運営の実施となっている。大会運営、選手、指導者の動き、観客の動きについて、これまでの大会と異なる点を主に記述した。また、3大会で共通していた部分については2.1でのみ記述した。

なお、本資料は2021年1月31日までの状況について記したものである。

2. 各大会での感染予防策

2.1 日本中学生バドミントンフェスティバル ～Remember 2020～

■日程：2020年8月4・5・6・7日

■会場：福島県立ふたば未来学園体育館（試合会場）、広野町立広野小学校体育館（待機場所）

■試合形式：団体戦、男女シングルス・ダブルス

■感染予防策：（プログラムより一部抜粋）

- ・ 学校長の承諾
- ・ 保護者の承諾
- ・ 入場者の事前申込制
- ・ 会場入口にて体調チェック
- ・ 大会当日含め、2週間前からの検温で異常がないこと
- ・ 60歳以上、小学校就学前の子供、持病を患っている方に関しては原則入場不可（応相談）
- ・ 出入口、トイレ、観客席等に消毒液設置
- ・ 会場規定に従い、2時間に1度換気
- ・ 各所ドアの常時開放（共有部分は極力触れない）

▽試合開始前

- ・ 会場入場時に体調管理チェックリストを提出
- ・ アリーナ入場時に必ず手指の消毒
- ・ アリーナ入場時は必ずマスク着用
- ・ 団体戦において全員がマスク着用の上挨拶

▽試合中

- ・ 選手同士の握手・ハイタッチ等の手の接触は絶対行わない
- ・ 意図的に大声を出さない
- ・ インターバル中にコートサイドの消毒液を使用し手指の消毒を行う
- ・ シューズの裏やコート内の汗は手で拭か



図1 日本中学生バドミントンフェスティバル ～Remember 2020～

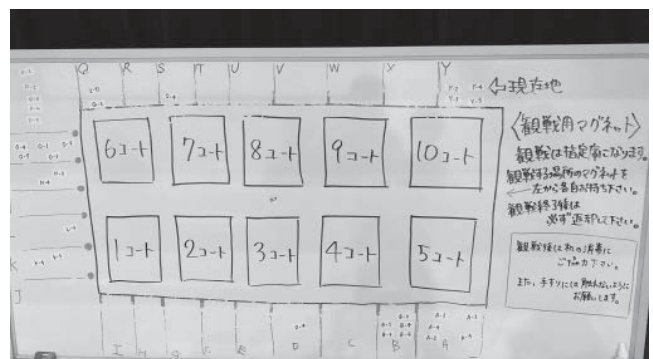


図2 同左

- 必ず各自の雑巾を使用する
- ・タオルや雑巾の使用や水分補給の前に必ず消毒液で手指消毒を行う
- ・定期的に換気を行うため、換気の放送があったら一定時間プレーを中断する
- ・試合中のマスク、選手はしなくても良いが、審判は着用する
- ・コーチ席は最大2名まで
- ▽試合終了後
 - ・団体戦において全試合終了後、全員がマスク着用のうえ挨拶を行う
 - ・団体戦では同一試時間の試合終了後に、個人戦では指定された時間に観客、選手を全員入れ替えると共に換気を行う
 - ▽観戦時
 - ・応援は原則拍手のみとし、大声での応援は行わない
 - ・手すりに触れたり、もたれたりしないように注意する
 - ・自チームの選手以外の試合は極力応援(見学)に行かない様にする
 - ・会場内では必ずマスクを着用する(熱中症予防の為こまめな水分補給をすること)
 - ・観客席は前後左右を1つ以上空けて使用する
 - ▽審判
 - ・スコアシートを使用しない(一部でのみ使用)
 - ・シャトル交換は選手の意思で選手自身が行う
 - ▽コート責任者
 - ・2コートに1名のコート責任者を置く
 - ・コート責任者は、試合が終わったら当該コートの審判台・サービスジャッジ席・線審席・コーチ席・得点板等を消毒の上、コートにモップをかけ、清掃と洗浄を行う
 - ▽常時
 - ・本イベントに関係する全ての人はIDカードを必ず身につける
 - ・会場と待機場所が離れることから、本部とチーム代表者への連絡はLINEを使用。

- ・発熱や体調に異常を感じた際は速やかに監督(代表者)に申し出、監督らは必ず状況を本部に報告すること
- ・集団での行動をなるべく避ける(特に更衣室、トイレ)
- ・会場内の手指消毒液設置場所を通過する際はその都度手指消毒を徹底する
- ・飲食はできる限り屋外で
- ・タオルやドリンクは各自専用とし、使い回しはしない(ジャグ使用禁止)
- ・スタッフは上記事項が適切に守られているか確認する
- ▽大会の棄権・中止
 - ・在住している都道府県が特定警戒都道府県となった場合
 - ・在住している都道府県が県を跨ぐ移動を制限された時
 - ・開催地で上記と同様の状況になった場合

所感

全国中学生選抜大会、全国中学校体育大会の位置づけとなる代替大会の一つ。当初、栃木県大田原市を会場に開催予定として準備を進めていたが、大会直近の状況にて、感染者急増に伴い予定していた体育館使用不可との連絡を受け、近郊に代替会場の当てもなく、一度は中止を考えたそうである。しかしながら、大会を目標にしていた選手達が再び目標を失いがっかりするようなことがあってはいけないと関係者らが奔走し、大会開催に至ったとのことである。大会開催にあたっては、会場変更に伴う会場の動線、収容人数等の関係で、いくつかの学校には不参加のお願いをせざるを得なかったそうである。ガイドライン作成に当たっては、医療従事者と協働で作成。会場ではスタッフが試合毎にコートの清掃、審判台、イスの消毒、試合のタイミングを見て換気をガイドライン以上に実施していた(図1)。タイムテーブルは時間の余裕を持って作成されており、時間毎の総入れ替りとし、会場内の人数を無理なく制限していた。体育館内は常設の観客席

はなく、大会序盤の観戦はギャラリーでのみ可能であった。ギャラリーでは柱の間隔を利用して隣のスペースを確保しながらテーブルを設置し、そのテーブルの前に立って応援する方式であった。ギャラリー入口にホワイトボードを置き、テーブル位置にあるマグネット確認して、マグネットを取ってそのテーブル位置に移動し、観戦終了したらテーブルの消毒を行い、ホワイトボードにマグネットを返却するスタイルはユニークな方法であった(図2)。

2.2 START FROM TOHOKU 2020 令和2年度全国高等学校バドミントン交流試合

- 日程：2020年8月12～14日 女子
8月15～17日 男子
- 会場：新青森県総合運動公園マエダアリーナ
- 試合形式：団体戦
- 感染予防策：(プログラムより一部抜粋)
 - ・男女別日程として開催
 - ・団体戦のみ
 - ・順位決定戦あり
 - ・会場収容率約1/6の定員とする
 - ・会場入口にて体調チェックとフェイスガード配布・着用(図3)
 - ・観客は常時フェイスガード着用、選手は観客席にて着用
 - ・観客席上部を観客、下部をチーム関係者席と分け、選手と観客の動線を極力分ける(トイレ以外の動線はほぼ分けていた)
 - ・試合動画の撮影及びライブ配信(13・14、16・17日)
 - ・団体戦オーダー用紙の提出はLINEを使用
 - ・プログラム、緊急時マニュアル、感染予防対策マニュアル、試合結果等情報はtwitterを使用

所感

全国高校選抜大会、全国高等学校総合体育大会の位置づけとなる代替大会の一つ。会場内での密を避けるため団体戦のみの実施、男

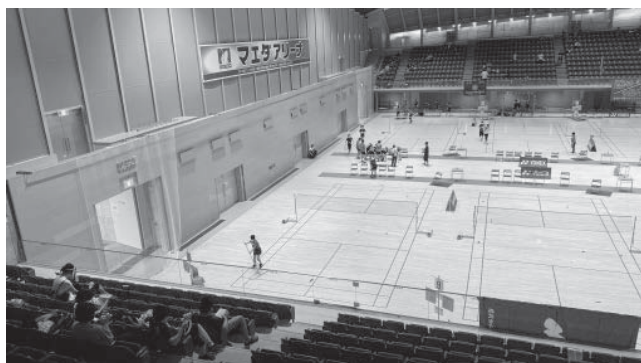


図3 START FROM TOHOKU 2020 令和2年度全国高等学校バドミントン交流試合



図4 同左

女別日程となり、通常の倍の6日間の日程となった。長丁場となり現地で対応されたスタッフの方々の負担が少なからず大きくなってしまったと感じた。バドミントンコート14面、上部固定観客席が3368席ある大きな会場で定期的な換気も頻繁に行われ、観客席でフェースシールドの着用していない観客や、選手ゾーンに入っている観客に対して本部からすぐに注意がいくなど、感染予防、ガイドラインの遵守にむけて徹底した取り組みが行われていた(図4)⁴⁾。試合はインターハイ同様に一部コートでライブ配信されたことにより、多くの保護者、関係者らが選手達の熱戦を応援できたのではと推察している。

2.3 日本小学生バドミントンフェスティバル in くまがや⁵⁾

■日程：2021年1月6～8日

■会場：彩の国くまがやドーム

■試合形式：4年生以上、学年別

男女シングルス・ダブルス

■感染予防策：(webサイトより一部抜粋)

- ・施設提出用名簿、健康チェックシート、参加同意書を毎日提出
- ・熊谷スポーツ文化公園の施設利用ガイドラインの提示・遵守
- ・試合途中の定期的な換気の実施
- ・試合中も扉、窓開放(暗幕有り)のため、防寒対策のお願い
- ・厚生労働省新型コロナウィルスアプリ「COCOA」と、「埼玉県LINEコロナお知らせシステム」インストール必須
- ・大会参加者の棄権連絡は、来場せずにメールまたは携帯に連絡
- ・出場選手と選手保護者1名・コーチのみ入場可とし、それ以外の方(応援の子供など)入場・観戦不可
- ・全体での集合、開閉会式は行わず、分散集合・分散解散となるため、選手・コーチ各自で集合時間を確認
- ・受付はコーチが代表して行う

- ・受付時に健康チェックシート及び参加同意書を提出する(図5)
- ・コーチ席は1人分
- ・コートサイドにカゴやドリンクケースは設置しない
- ・すべての選手は、こまめに手洗いうがい
- ▽試合進行について
- ・フロアへの入退場は一方通行
- ・試合前後の握手はせず、主審は選手名を確認し、試合前の練習後試合を開始する
- ・勝者サインは主審が記入
- ・試合終了後、審判は審判台、コーチ席、線審席の消毒作業を行う
- ・審判員は分担の審判業務が終了次第退館する
- ・最終日の試合はCSテレ朝ch2で生中継、スカパー!オンデマンドで見逃し配信あり

所感

全国小学生バドミントン選手権大会の位置づけとなる代替大会の一つ。選手権は岐阜県岐阜市にて開催予定で進んでいたが、2020年10月1日付けで中止決定となった。この大会に向けて必死に練習してきた子どもたちに「日本一を目指す大会を!」という思いから有志が企画し、埼玉県熊谷市を会場に開催が決定したという⁶⁾。

審判はフェイスガード着用、フロア内の大会本部には、対面して会話が発生する箇所に飛沫防止パーテーションが設置されていた(図6)。また、観客席でマスクをはずしている観客がいた時には館内放送で注意するなど、感染予防の意識を全体で高めていた。選手保護者が基本的に選手の体調等含めて大会期間中管理を行うことについてはこれまでと同様ではあるが、毎日の書類提出が追加されたことにより厳密に行われた。大会に参加した選手達は、新しい運営形式などに戸惑うような素振りを見せず、会場のガイドラインに従い、観客席での振る舞いもルールを守って行動し、試合を行っていた姿は印象的であった。大会最終日

にはCSでの生中継もあり、選手らのモチベーションも上がったのではと推察される。

3. 2020年度バドミントン界の状況

国際大会、BWF World Tourでは、2020年3月11～15日にイギリス・バーミンガムで開催された第110回全英オープンを最後に大会中止・延期となった。全英オープン開催初日の3月11日は、WHOによるパンデミック宣言が発出された日と同日であった。その後、ツアー再開されたのは10月13～18日にデンマーク・オーデンセで開催されたデンマークオープンであった。しかし、その後も感染状況は落ち着かず大会の中止・延期が続いた。その後、開催決定当時は比較的感染状況が落ち着いていたタイ・バンコクを会場として2021年1月12～17日にヨネックス・タイオープン、19～24日にトヨタ・タイオープン、27～31日にワールドツアー・ファイナルが開催された。今後のツアーについて、現時点では開催予定となっている⁷⁾。

デンマークオープン以降の感染対策として、選手・チーム関係者の動線と記者らの動線を完全に分け、滞在期間中は試合会場と滞在ホテルの移動のみとし、厳しい外出等制限を設け外部との接触を遮断する「バブルシステム」を採用している。他競技種目でも採用されているシステムであり、今後の大会運営で主流となるのではと期待は大きい。しかしながら、ヨネックスタイオープンでの記事によると、試合直前に陽性反応が出て棄権扱いとなったが、再検査では感染していないことがわかり一転して出場可能となって選手や、チームスタッフが陽性と判定され、その対戦チームが「選手はコーチの濃厚接触者であり、21日間の潜伏期間を考えると危険」と判断し、試合を棄権したようである⁸⁾。また、大会運営中に幾度となく行われるPCR検査も選手に負担を与え、ある選手は4度目のテストで大量の鼻血がでたということ自身のtwitterで報告した⁹⁾。日本チームでは大会参加のため出発前に成田空港で受けた



図5 日本小学生バドミントンフェスティバル in くまがや



図6 同左

PCR検査で男子選手1名が陽性と判定されたため、大会参加を取りやめ、そのまま成田でチームを解散した。男子チーム11人は成田までの移動時に同じバスであったことで濃厚接触の可能性があると、全員を空港周辺のホテルで隔離した¹⁰⁾。本人たちを含め、大会での活躍を楽しみにしていた方々にとっては残念なニュースであったが、出発前に判定されたことは不幸中の幸いであった。3月以降のオリンピックのポイントに係るグレードの高い国際大会については、実証実験を重ねながら少しずつ動き出している状況である。

国内大会については、2020年2月29～3月2日に大分県別府市で開催予定であった第20回全国社会人クラブ対抗バドミントン選手権の中止をはじめ、全てのカテゴリでの大会が中止となった¹¹⁾。このまま大会が開催されないのではないかと危惧されたが、12月21～27日に東京都町田市を会場に、全日本総合バドミントン選手権大会が開催された。大会の開催は約10ヶ月ぶりであった。本大会は国内大会最高峰の位置付けであり、大会結果から次年度のナショナルチーム編成を決定する大会である。今回、無観客開催となったが、BSでの放送だけではなく、各コートYouTubeでの配信を試みるなど、バドミントンファンのために無観客を補う試みが行われた。また、オリンピックメダル候補のため注目度も高く、地上波のスポーツニュース等でも繰り返し放映された。全日本総合終了後には徐々に大会開催を願っていたが、その思いとは逆に上述した通り国内感染者数が急増している現状にある。2021年2月20～22日に大阪府大阪市で開催予定の第21回全国社会人クラブ対抗バドミントン選手権大会が前年度に引き続き中止決定、国際大会ではあるが3月31～4月4日に大阪府守口市で開催予定の大阪国際チャレンジも2年連続の中止が1月30日に発表された。3月24～28日に福島県須賀川市・郡山市にて開催予定の全国高等学校選抜バドミントン選手権大会、同じく3月26～28日に秋田県由利本荘市にて開催予定の全日本中学生バドミントン選手権大会については現状開催予定であることから、このまま感染者数が抑制され、落ち着きを取り戻して開催されることを切に願うばかりである。

4. まとめ

コロナ禍という全世界が初めて直面する環境下において、著者が実際に視察に赴いた3大会と2020年度のバドミントン界の状況について、今後の大会運営のあり方、進め方を考える際の資料としてまとめた。各大会、ガイド

ライン作成に医療従事者と協働しアドバイスを含めて作成されたと同っている。視察した3大会の参加者は大会が開催されたことに感謝し皆協力的であり、消毒作業の手伝いや大会運営のサポートを積極的に行っている姿を数多く見ることができた。これら大会が開催される中で良い点、改良点を認識し、地域や会場のガイドラインの確認、医療関係者との情報交換を行うことが大切である。新しい情報を入れ、より安全安心にスポーツ活動を続けていくためにはこれら情報を大会運営者、全参加者含めて大会に関係する全ての方々に共有し、次の大会運営に活用して常にブラッシュアップすることが求められる。

大会や合宿参加に当たっては、体調チェック等求められているが、試合終了後の扱いについては強制力の高い情報共有がなかったように感じた。地方の社会人チーム指導者と情報交換した中では、大会から所属先に戻ってきた時に、まずPCR検査を受けて、陽性ではないことを確認してから業務にあたるということであった。今後、国際大会や国内の主要大会、ナショナルチームの合宿等では、所属先に戻ってからの検査も視野に入れたパッケージを考える必要性を感じた。

大会開催において、しばらくは無観客や入場制限等が求められ、気軽に試合観戦といかない状況が続くようであるため、地上波、BS、CSやYouTube、SNS等メディアを利用して試合映像、結果をリアルタイムで情報提供する仕組みがより求められる。大会中止が今後も続くような状況となれば、協会登録者数の減少も少なからず予測されることから、上記サービスを含めて選手、ファンを満足させる施策が求められるであろう。

著者の所属する大学界では、2019年10月開催の全日本学生選手権団体戦が台風のため中止となり、今年度も中止になったことから、団体については2年連続の中止となった。ジュニア期からユース期にかけての選手にとって大会への参加は日頃の練習の成果を発揮する場であることは元より、その試合の結果やパフォーマンスは進学、就職について考える、将来の進路に関わる大切な時間となる。大学生においては大会中止が続くようであれば、進路について、これまでの競技中心の生活から新たに違う選択肢を考える必要が生じる。大会の開催可否については、当然ながら開催を前提として進め、各大学の状況、地域の感染状況、医療体制など情報を持ち寄りタイムリミットまで議論された。これまで中止の判断が多かったが、スポーツ界全体で少しずつ蓄積された対策、情報を元に、大会開催に向けて進むための

資料の一助となれば幸いである。

他、大学生の交流大会、大学生と社会人交流大会など開催される旨、情報はいただいていたが、所用のため伺うことができなかった。情報に関して一部偏った情報になっていることも否めないがご容赦願いたい。

5. 謝辞

大変な状況の中、大会を企画、準備から大会開催終了まで運営された全ての関係者の皆さまに改めてこの場を借りてお礼申し上げ、あわせてこの状況下に大会視察を快く受け入れていただきましたことに重ねてお礼申し上げる次第である。

参考文献

- 1) NHK特設サイト新型コロナウイルス 緊急事態宣言1回目の状況。
[https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/emergency/\(2020.1.10\)](https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/emergency/(2020.1.10))
- 2) News Digest 新型コロナウイルス日本国内の最新感染状況マップ・感染者数。
[https://newsdigest.jp/pages/coronavirus/\(2020.1.10\)](https://newsdigest.jp/pages/coronavirus/(2020.1.10))
- 3) 久木留毅ら。スポーツ界におけるエビデンス・ベースト・ポリシー・メイキングの構築に向けて: COVID-19におけるWHOのスポーツ界への影響力から。Journal of High Performance Sport, 6:174-188, 2020.
- 4) 新青森県総合運動公園 メインアリーナ。
[http://www.sport-aomori.jp/new_athletic_park/main_arena.html\(2020.1.25\)](http://www.sport-aomori.jp/new_athletic_park/main_arena.html(2020.1.25))
- 5) 日本小学生バドミントン連盟 日本小学生バドミントンフェスティバル inくまがや
[http://www.syoubad.jp/taikai/etc/2020/kumagaya.html\(2020.1.15\)](http://www.syoubad.jp/taikai/etc/2020/kumagaya.html(2020.1.15))
[http://www.syoubad.jp/taikai/zensyou/zensyou29/file/20201002zensyou.pdf\(2021.1.15\)](http://www.syoubad.jp/taikai/zensyou/zensyou29/file/20201002zensyou.pdf(2021.1.15))
- 6) TV朝日CS 日本小学生バドミントンフェスティバル IN くまがや。 [https://www.tv-asahi.co.jp/ch/contents/sports/0491/\(2021.1.25\)](https://www.tv-asahi.co.jp/ch/contents/sports/0491/(2021.1.25))
- 7) BWF Fansite
[https://corporate.bwfbadminton.com/news-single/2020/02/28/covid-19-updates\(2021.1.25\),](https://corporate.bwfbadminton.com/news-single/2020/02/28/covid-19-updates(2021.1.25),)
[https://bwfbadminton.com/calendar/2020/all/\(2021.1.25\),](https://bwfbadminton.com/calendar/2020/all/(2021.1.25),)
[https://bwfbadminton.com/calendar/2021/all/\(2021.1.25\)](https://bwfbadminton.com/calendar/2021/all/(2021.1.25))
- 8) FNNプライムオンライン コロナ禍の国際大会で相次ぐ陽性…バドミントン・タイOPで見えてきた問題点。 [https://www.fnn.jp/articles/-/131810\(2021.1.25\)](https://www.fnn.jp/articles/-/131810(2021.1.25))
- 9) Kidambi Srikanth twitter .
[https://twitter.com/srikidambi?ref_src=twsrc%5Etfw%7Ctwcamp%5Etweetembed%7Ctwtterm%5E1348920319554121728%7Ctwtgr%5E%7Ctwcon%5Es1_&ref_url=https%3A%2F%2Fwww.fnn.jp%2Farticles%2F-%2F131810\(2020.1.25\)](https://twitter.com/srikidambi?ref_src=twsrc%5Etfw%7Ctwcamp%5Etweetembed%7Ctwtterm%5E1348920319554121728%7Ctwtgr%5E%7Ctwcon%5Es1_&ref_url=https%3A%2F%2Fwww.fnn.jp%2Farticles%2F-%2F131810(2020.1.25))
- 10) NHK NEWS WEB スポーツ バドミントン男子代表11人隔離へ。
[https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210104/k10012796041000.html\(2021.1.15\)](https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210104/k10012796041000.html(2021.1.15))
- 11) 日本バドミントン協会 大会情報。 [https://www.badminton.or.jp/result/2019.html\(2021.1.25\),](https://www.badminton.or.jp/result/2019.html(2021.1.25),) [https://www.badminton.or.jp/result/2020.html\(2021.1.25\)](https://www.badminton.or.jp/result/2020.html(2021.1.25))